

授業科目名 <英訳>	現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	月2	授業形態	特殊講義
題目	アルメニア人と帝国								
【授業の概要・目的】									
<p>ソヴェト政権確立までのロシアとオスマン帝国におけるアルメニア人の動きを概観する。</p> <p>アルメニア人は二重三重の含意を込めて「カフカスのユダヤ人」と呼ばれていた。アルメニア人の多くはキリスト単性論、すなわちカトリックや正教会から見れば異端の教義を信仰するキリスト教徒であり、ユダヤ教徒とは交易離散共同体（ディアスポラ）としての共通点が多い。19世紀後半以降、「アルメニア人問題」は列強間の国際問題化し、ロシアとオスマンの両帝国においてアルメニア人の立場は微妙なものとなっていた。第一次世界大戦期のアルメニア人強制移住と虐殺は、ナチスドイツによるユダヤ人問題の「最終的解決」を準備したといえる。本講義では、帝国と国民国家の問題としてアルメニア人の歴史を考えたい。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>以下の内容について、各1 - 2回の講義を行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イントロダクション：アララト山とカラバフ、歴史問題と領土問題</li> <li>・アルメニア教会</li> <li>・交易離散共同体</li> <li>・ロシアのカフカス統治とアルメニアのナショナリズム</li> <li>・グルジア人・クルド人・山岳民族</li> <li>・「アルメニア問題」とバルカン問題</li> <li>・イラン立憲革命</li> <li>・第一次世界大戦：ロシアの「異民族」動員</li> <li>・第一次世界大戦：オスマン帝国による強制移住と虐殺</li> <li>・アルメニア共和国の成立</li> <li>・強制移住の記憶：アルメニア</li> <li>・アルメニアの記憶：西欧</li> </ul>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
期末レポート(80点)および中間レポート(20点)による。									
【教科書】									
プリントを配布する。									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									